

大葉の障害

斑点病 & さび病 & ハダニ被害

斑点病

大葉は高温多湿条件が数日続くと葉の表面にポツポツと

黒い斑点が発生することがあります。

主に6月下旬から7月、また9月から10月上旬に多発する可能性があります。

この黒点は検品などで極わずかでも見逃してしまうとパック内で広がってしまうという特徴があります。

出荷時に十分点検したのにも関わらず、開けてみたら

黒点がワッと広がっているということがあるのは

そのためです。 弊社では

ほんのわずかでも黒点を見つけた場合はパックごと出荷不可という対応をしています。



さび病



大葉の葉の裏側に小さな**黄色い卵**のようなものが斑点のようにかたまりでついていることがあります。

「さび病」という病気で、中には白いものもあります。

よく長ネギの青い部分が白や黄色の粉の

ふいたようなものがついているのを畑などで見たことがあると思います。

大葉の場合、葉の裏にできますので、

本当に卵か何かのように見えます。

春と秋によく発生し、大葉の肥料切れが

原因であったりするそうです。特に多湿の場合多くみられるということなので注意しています。

ハダニ被害

ハダニの被害は通年起こる可能性があります。

特に乾燥しやすい時期に多く

葉に無数の小さな穴を開けます。

その穴があまりにも小さいので

かすれたような感じに見えます。



□ ご質問などございましたらお問い合わせください。
メールにてお答えいたします。

中央フーズで検索してください

<http://www.chuou-foods.com>